

# 地区別意見交換会 開催結果（意見のまとめ）①本庁管内以外

(芳賀地区)  
 ・現在、芳賀地区には路線バスが走っているが、嶺公園行きと荻窪公園行きの2路線である。移動手段の選択肢としては利用しづらい。路線の変更があれば利用するかもしれない。

(南橋地区)  
 ・バス利用するにあたり、停留所まで行くことが大変である。  
 ・移動行動する主要因は買い物である。自家用車からバスへ移動手段の変更を考えるとバス停以外で下ろしてもらえれば利用しやすい。  
 ・以前マイタクを利用したが、事業者の対応が悪く、以降利用するのをやめた。  
 ・拠点を前橋駅へ繋げようとしても効果が低いと思う。

(総社地区)  
 ・群馬総社駅周辺は朝晩の混雑がひどく、事故が起きないのが不思議な状況である。駅西側の整備を以前から求めている。  
 ・地域内の商業施設に繋がる路線があると便利だと感じる。  
 ・公共交通の利用者を増やすには、もっとPRが必要である。

(清里地区)  
 ・バス路線が3本地区内を走っているが、いずれも利用者は少ない。  
 ・地域内の商業施設に繋がる路線があると便利だ。  
 ・群馬総社駅の駐車場は混んでいて、パーク&ライドの利用が難しい状況にある。素案の内容を見ても求めているものと実態が離れているような印象を受けた。

(元総社地区)  
 ・バス路線の本数はそれほど多くないが、頻繁に運行している印象がある。  
 ・主要路線の他に、拠点同士を環状につなぐ路線があってもよいのではないか。  
 ・フレッセイの移転に伴う買い物の空白地域ができてしまっている。  
 ・生活に重点をおいた路線の他に、レジャーを視野にいれたものも検討できないか。  
 ・サイクリングロードの整備で自転車利用を促進してはどうか。

(東地区)  
 ・路線図の配布などPRに力を入れる必要があると思う。  
 ・そもそも年寄りこそ車が必要な状況ではないかと感じる。自動運転など技術の進歩に期待し、より長く免許を持ちたいと思っている。  
 ・電車を利用しやすく便利である。利用者を増やすにはサービスの向上が必要ではないか。  
 ・マイタクは便利で利用している。バスも値段が高いが便利なので利用者は多い印象がある。

(上川淵地区)  
 ・現時点では公共交通をあまり使わない。もっと高齢になってから課題として認識できるだろう。  
 ・マイバスも協立病院までは来ないし、市街地優先という感じがする。  
 ・朝夕の通勤で公共交通を使いたくても本数が少ないので難しい。  
 ・南部地区はこれから様子も変わるだろうから10年、20年先を見て、南部拠点の魅力アップと変化に合わせた公共交通の再編を検討すべき。

(下川淵地区)  
 ・今は車に乗れるので公共交通は考えてもいなかったが、先々を考えると、病院、買い物、公共施設を繋げた路線の考えは良いと思う。  
 ・この地区では買い物は何とかなると思っているが、病院は遠い。老人世帯の足の確保は地域づくりでも取り組む課題とも思う。  
 ・バス停が遠いから、自転車置き場やシルバーカー置き場があると利用しやすい。  
 ・昔は中心街に学校も多く皆がバスを使っていたが、学校も郊外へ出たし、行政サービスも地区の市民サービスセンターで済ませられるようになった。地域の拠点を巡回する路線があれば需要もあると思う。

(富士見地区)  
 ・るんるんバスが運行しているが、中心部へ行こうとする場合、乗り換える必要があり使いづらい。  
 ・上電がJRへ乗り入れするとよい。  
 ・富士見地区は多世帯居住が多く、公共交通の必要性を感じない人が多いのではないか。  
 ・バスを使うニーズが変わってきている。赤城山観光やツーリングの補助としての利用が増えてきているように感じる。  
 ・荷物の問題。高齢者が利用するにあたりシニアカー等が載せられるとよい。

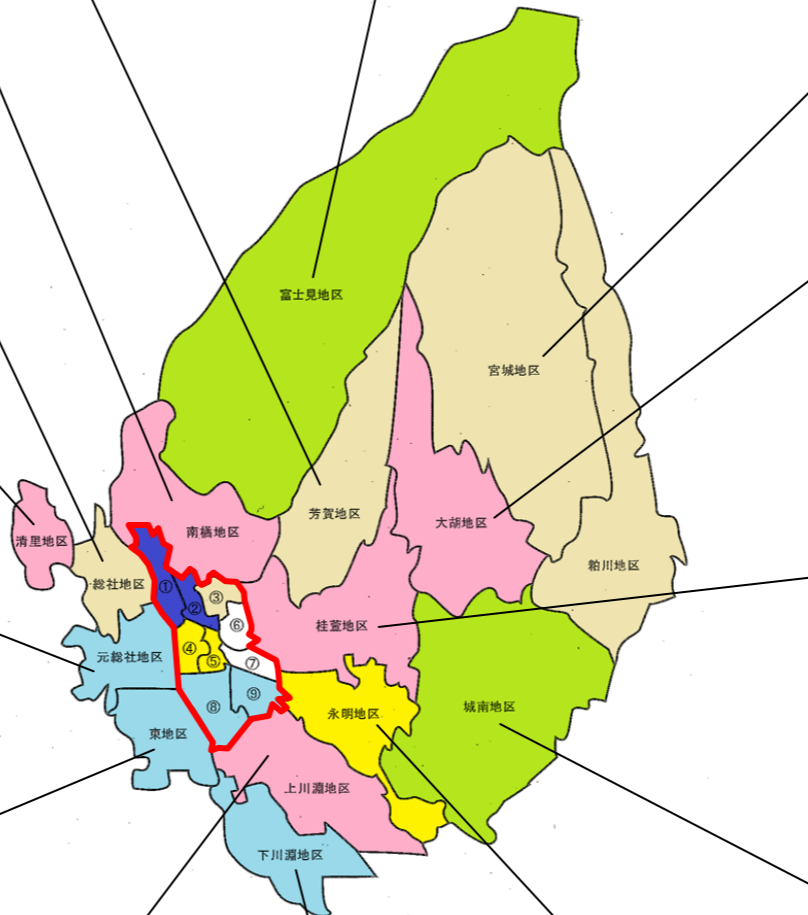
(宮城地区)  
 ・宮城地区は路線バスがないが、デマンドバスがあるので助かる。  
 ・デマンドバスは便利であるが待ち時間が長いケースがあり、長い場合だと2時間待ちというようなこともある。  
 ・デマンドバスは毎日利用するような方もいる。4台で運行しており、拠点が大胡であるため、宮城地区の一番遠い停留場まで45分はかかる。(デマンドバス運行者)  
 ・バスにシニアカーが乗せられるとよい。事業者側の負担軽減になるのであればタクシーなどは軽自動車でも良いのではないか。

(大胡地区)  
 ・上電の利用を促進したいが乗車料金が低い。利用の足かせになっており、利用者減の悪循環になっているのではないか。  
 ・デマンドバスは走っているが時間が読めず不便がある。若者も使いたくなるような運行形態が必要である。  
 ・「公共＝受益者負担が少ない＝距離に関わらず単一料金」のような考え方が必要である。  
 ・バスにしる電車にしる停まる箇所は多いほうが良い。  
 ・マイタクの利用制限を緩和したらどうか。

(桂萱地区)  
 ・バスについて日中の利用者が少ない時間帯の運行を減らし、最終運行の時間を遅くしたらどうか。  
 ・バスの本数が少ないことが利用の妨げになっているのではないか。  
 ・イベント開催時に公共交通を利用する機会を作るなどのきっかけが必要である。  
 ・多額の税金を支出しているようであれば、きめ細かいデマンド運用が望ましい。

(城南地区)  
 ・昔から公共交通に恵まれていない地区であったが、今はもっと悪い。さらに走っているバスも乗客がほとんどいない。  
 ・高齢者はもちろん、全世代で公共交通を考える必要がある。  
 ・高齢者は500mの距離を歩くのも困難であり、バス停に行くことが困難である。

(永明地区)  
 ・人の流れにあわせた公共交通が必要。便利であれば利用される。  
 ・現状、昼間のバスはほとんど利用されていない。費用対効果を考えて、昼間のバスの代わりにデマンドバスなどを運用したらどうか。  
 ・昔から比べるとバスの本数が減ってきている。  
 ・昔からバスが通っていない地域であり公共交通への期待がない。



# 地区別意見交換会 開催結果（意見のまとめ）②本庁管内

①（岩神地区）

- ・マイタク利用者が多いことで、バス利用者が減るといった結果になっているのではないかと。
- ・計画を本格的に進めるのであれば、関係団体、関係部署などの意見をすべて合わせたものでないと実現しない。
- ・大型バスは要らないと思う。

②（敷島地区）

- ・高齢者が集まるサロンでは「買い物」が重要と考えており、今度マイタクを乗り合いで利用して買い物をする事業を計画している。
- ・地区内から高校が移動してしまったが、こうしたことも含めて都市計画と合わせて考える必要がある。
- ・マイバスより小さいハイエースなどを利用すれば、もっとコストを抑えることができるのではないかと。
- ・多くの地域づくり協議会で「福祉部会」があるが、そこに公共交通という分野が入っていない。福祉と公共交通は関係が深いので、テーマの1つにするのもよいと思う。
- ・前橋駅での電車とバスの接続が悪い。
- ・バスでスイカなどが使えるとうれしい。
- ・マイバスは3本同じルートを回っているが、一部ルートを変えるなどしてはどうか。

④（桃井地区）

- ・公共交通は行政やバス会社のほか、地域でも考えることが大切である。
- ・都市計画などと合わせて検討しないと意味がない。

⑧（南部地区）

- ・マイバスなどもいいが、バスだと行きたいところへ行こうとしても乗り継ぎの関係から数時間かかってしまう。やはりタクシーを使いたくなる。
- ・市街地ではよく自転車を使うが、駅で置き場が分からなかったり、バス停に置き場がなかったりするので、バスとの併用がしづらい。
- ・マイバスは脇道を通るので時間がかかる。デマンドバスがいいだろう。
- ・地域ごとに状況が異なるので皆が満足する公共交通は難しいのだろう。赤字路線への税金の投入も考え物と思う。

③（若宮地区）

- ・バスにシルバーカーが乗せられると便利である。
- ・今現在、自転車か自家用車での移動が殆どであり、不便はないが、運転免許証返納後の移動手段は不安である。
- ・マイバスは場合によっては自転車よりも遅い。また、一方向での運行であるため遠回りになるケースがあり不便である。
- ・マイバスの路線を知らなかった。改めての周知が必要と思う。
- ・バスの路線が減っている。また、路線の拠点の研究が必要と思う。
- ・公共交通を便利なものにするのは地域の声であると思う。
- ・『持続可能な「コンパクト」なまちづくり』というのが分かりにくい。拠点がどこであり、公共交通とどう組み合わせるのか。

⑤（中央地区）

- ・高崎駅から前橋駅のアクセスが悪い時間帯がある。
- ・市内中心部と郊外で公共交通に関する温度差は大きいと思う。中心部で不満を抱えている人は少ない。
- ・イトーヨーカドーがあった時は、郊外から前橋駅に繋げるといった交通網でうまくいったような印象があった。
- ・マイタクの利用者は多い。

⑦（中川地区）

- ・マイタクを利用する際、免許証を返納した時に発行した運転経歴証明書を見せると双方のサービスを受けられ便利である。
- ・マイバスは病院等の行く目的のある拠点があれば利用するが、多く人にはその拠点がなため利用しない。
- ・中川地区は高齢化率の高い地域であるがウーバーのようなものがあれば便利で広まるのではないかと。
- ・高齢者と言えども60歳代の方が80歳代の方の運転補助などは可能である。
- ・パターンダイヤ（運行間隔が同じ）であれば利用しやすくなるのではないかと。

⑨（天川地区）

- ・地域内の公共交通はあまり利用していない。マイバスも回る方向で使いづらさがある。中心街ばかりへの誘導は考え直すべき。
- ・病院や買い物使用など、公共交通は身近な使用を前提として運営を考えるべき。
- ・地域ではバス停が遠くてマイタクを使う人が多くなっている。
- ・群馬は車保有率No.1。車に乗れなくなると寂しくなるだろう。公共交通は、病院、買い物と公共施設を繋いでいくのが優先と思う。

- ①岩神地区
- ②敷島地区
- ③若宮地区
- ④桃井地区
- ⑤中央地区
- ⑥城東地区
- ⑦中川地区
- ⑧南部地区
- ⑨天川地区

